



一中だより

令和6年度 第11号 令和6年10月3日(木)

「全国学力・学習状況調査」の結果と分析をお伝えします

過日、3年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の本校の結果が届きましたので、その結果等をお伝えします。なお、1年生や2年生についても3年時に「全国学力・学習状況調査」を受検することになるとお思いますので、「学校だより」として、生徒と保護者の皆さん全員へお伝えすることをお含みください。

1. 調査の概要(中学校に係る調査の概要)

- (1) 実施期日 質問紙調査：令和6年4月16日(火)
学力調査：令和6年4月18日(木)
- (2) 実施対象 国公立学校の中学校第3学年生徒
- (3) 実施内容 ①教科に関する調査(国語、数学の2教科)
②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査



2. 「教科に関する調査」の結果等の概要

(1) 国語

「国語」においては、県および全国の平均を2～3%上回る結果となりました。知識及び技能については、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項、(2)情報の扱いに関する事項、(3)我が国の言語文化に関する事項のいずれの3事項とも、県及び全国を上回っています。思考力・判断力・表現力ではB「書くこと」、C「読むこと」が、県および全国の平均を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」が県および全国の平均をわずかに下回るという結果となりました。今後も「自分の考えを表現する力」の育成に重点を置き研修や授業改善を行っていきます。

(2) 数学

「数学」においては、県および全国の平均とほぼ同じ結果となりました。領域別に細かく見ると、「数と式」「関数」では、県および全国の平均を数%上回る結果となりましたが、「図形」「データの活用」では、県および全国の平均をわずかに下回る結果となりました。今後はその点の向上を目指して、指導の改善と充実に取り組みたいと思います。

なお、各教科における今年度の特色的な出題としては、次のことが挙げられると思います。

【国語】話し合いの中で話題を意識しながら話したり聞いたりすることや話し合いの展開に応じて互いの発言を結び付けて話し合った内容に応じて自分の意見をまとめたりすることなど言語活動で育成される力を問う問題が出題された

【数学】事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決するといった数学的活動を重視した問題が出題された

上記のように、説明や自分の考えを書かせる内容が出題されました。今後も日常的な言語活動を重視するとともに、「自分の考えを表現する力」が高められるように授業改善に取り組み、対策を講じていきたいと思っています。

3. 「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」における本校の特色・傾向等

教科に関する調査とは別に質問紙による調査も実施されました。この調査は、学校やご家庭での勉強や生活の様子、教科等への興味・関心などについて尋ねたものです。その中で、特徴的な項目についてお伝えします。

【良い傾向であると思われる項目について】

- 「朝食を食べる」「就寝や起床の時間が決まっている」などの毎日の生活習慣にかかわる項目では、県および全国よりもよい生活習慣を持っている生徒が多いことが分かりました。
- 「あなたの学級ではお互いの意見の良さが生かされていますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた割合が県および全国を上回りました。また、「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対しても、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が県および全国の平均を上回り、生徒の皆さんが、学級や社会と協力して、よりよい未来のために前に進もうとしている姿勢が表れているように感じます。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」がと答えた割合が県および全国を上回りました。多様性を尊重し、相手を思いやる気持ちが育成されている様子がうかがえる結果となりました。
- 各教科の学習状況の調査について、各教科の学習は「好きですか」「大切だと思いますか」「よく分かりますか」「将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問では、おおむね「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合が県および全国を上回りました。

【課題があると思われる項目について】

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という質問については、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合が県および全国をわずかながら下回りました。生徒の「さらに理解を深めたい」「もっとできるようになりたい」という前向きな思いや願いに応えられるよう一斉指導に工夫を重ねるとともに、この結果を真摯に受け止め、より一層、個に応じた指導に努めていきたいと思っております。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問についても、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合が県および全国の平均をわずかに下回りました。学校では、様々な機会を通して生徒の相談に乗り、励ましや支援を行ってきたつもりではありましたが、しかし、この結果を受けて、これまで以上に生徒が気軽に気持ちを打ち明けられるような生徒に寄り添う姿勢をもった支援のあり方に改善していきたいと考えております。

今回は主に特徴的な項目について、紹介いたしました。具体的な数値は掲載いたしません、今年度の結果を基に、今後の指導に生かしていきたいと考えております。また、調査を実施した3年生には、既に個人の結果をお渡ししてあります。保護者の皆様におかれましては、個々の結果を生徒本人と共有して今後生かしていただきたいと思っております。結果は半年前の調査のものではありますが、過去のこととして単に受け流すことなく、この機会に設問へ再チャレンジしながら自分の課題について考える時間を作るなど、今回渡された調査結果を自己実現の一助としてほしいと願っております。

